

# グラフィックサービス

発行：一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

ジャグラは一般財団法人日本情報経済  
社会推進協会指定のプライバシー  
マーク指定審査機関です



# GS

No.778  
2016  
09

## ■ 巻頭企画

### 「強いジャグラ」を実現する、 事業推進体制を整えました。

第52年度(平成28年度)事業推進体制について

## ■ お知らせ

### 酉年 年賀状商戦の準備はお早めに！ 日本自費出版文化賞入賞作品決まる！ ファイナリスト 10 名が決定！

～ジャグラコンテスト第2回InDesign～

## ■ 各種制度のご案内

キャリアアップ助成金が拡充されます  
厚生年金保険・健康保険の適用拡大が始まります  
中小企業経営強化法が始まっています

## ■ 巻頭言

### 後継者発掘が急務

——ジャグラ副会長 樋貝 浩久

### ■ 連載「温孔知新⑨」

～俳優・佐藤慶、貧乏時代・ガリ版との日々～

- 巻頭企画
  - 4 「強いジャグラ」を実現する、事業推進体制を整えました。第52年度(平成28年度)事業推進体制について
- お知らせ
  - 2 酉年 年賀状商戦の準備はお早めに！各種データのダウンロードを特設サイトで開始しました
  - 16 第19回 日本自費出版文化賞入賞作品決まる！大賞は“該当無し”という結果に終わる
  - 24 ファイナリスト10名が決定！ジャグラコンテスト第2回InDesign

● 巻頭言

- 1 後継者発掘が急務  
SPACE-21への勧誘、諸会議への若手参加を  
ジャグラ副会長 樋貝浩久

● 各種制度のご案内

- 10 キャリアアップ助成金が拡充されます
- 13 厚生年金保険・健康保険の適用拡大が始まります
- 14 中小企業経営強化法が始まっています

● 連載

- 28 「温孔知新⑨」俳優・佐藤慶、貧乏時代・ガリ版との日々  
～その若き日と主要な作品～  
山形謄写印刷資料館 館長 後藤卓也

● NEWSとお知らせ

- 23 ジャグラBBホットニュース
  - 27 業界の動き
- |          |         |
|----------|---------|
| 20 議事録抄録 | 21 コラム  |
| 22 企業情報  | 27 編集後記 |

SCHEDULE

- |  |  |
|--|--|
| 8月                                       | 15日 広報委員会  |
| 1日 Pマーク現地審査(大阪)                          | 16日 環境委員会、文化典北海道大会実行委員会打ち上げ(北海道)                 |
| 2日 Pマーク現地審査(大阪)、日印産連企業行動委員会→沖専務          | 21日 Pマーク現地審査(秋田)                                 |
| 4日 日印産連ステアリングコミッティ→中村会長、日印産連知的財産→増田理事    | 24日 全日本製本全国大会(東京ドームホテル)→中村会長                     |
| 5日 日印産連専務理事連絡会→沖専務                       | 26日 Pマーク現地審査(大阪)                                 |
| 9日 ジャグラコンテスト会議、教育・技術委員会                  | 27日 Pマーク現地審査(大阪)                                 |
| 10日 日印産連理事会→中村会長、菅野副会長                   | 29日 日印産連知的財産部会→増田理事                              |
| 15日 ジャグラコンテスト会議専門委員WG                    | 10月  |
| 18日 ジャグラBB企画部会                           | 3日 Pマーク現地審査(大阪)                                  |
| 19日 広報委員会                                | 4日 Pマーク現地審査(大阪)、東グラ理事会→沖専務                       |
| 22日 Pマーク現地審査(福岡)                         | 6日 ハイデルベルグ・ジャパン(株)90周年(品川プリンスホテル)→菅野副会長、経営革新委員会  |
| 29日 Pマーク現地審査(栃木)、組織拡大打合せ(長野)→中村会長        | 7日 理事会(東京ドームホテル)、全国協議会一日目(東京ドームホテル)              |
| 31日 Pマーク現地審査(長野)、マーケティング委員会              | 8日 全国協議会二日目(東京ドームホテル)、日本自費出版文化賞表彰式(アルカディア市ヶ谷)    |
| 9月                                       | 11日 マーケティング委員会                                   |
| 1日 Pマーク現地審査(長野)                          | 13日 Pマーク現地審査(宮城)                                 |
| 2日 SPACE-21 幹事会(秋田)                      | 14日 Pマーク現地審査(宮城)                                 |
| 6日 Pマーク現地審査(京都)、組織拡大打ち合わせ(京都)→中村会長、沖専務   | 19日 日印産連ステアリングコミッティ→中村会長、Pマーク現地審査(大分)            |
| 7日 Pマーク現地審査(愛知)、日本自費出版文化賞最終選考会&記者発表→中村会長 | 20日 日印産連専務理事連絡会→沖専務、文化典岩手大会実行委員会(岩手)→守田常務、事務局    |
| 9日 JIPDEC ヒアリング調査→延期                     | 21日 全印工連全国大会(福島)→中村会長、ショーワ会(ホテルメトロポリタンエドモント)→沖専務 |
| 10日 ジャグラコンテスト二次審査、教育・技術委員会               | 26日 Pマーク審査会                                      |
| 12日 JIPDEC 指定審査機関会議→守田常務(代理)             | 28日 Pマーク現地審査(岩手)                                 |
| 13日 4団体懇談会(銀座)→中村会長、菅野副会長、沖専務            |  |
| 14日 Pマーク審査会、正副会長会議、日印産連「印刷の月」式典          |  |

# 後継者発掘が急務

SPACE-21への勧誘、諸会議への若手参加を

(一社)日本グラフィックサービス工業会 副会長  
山梨県支部 (有)東和プリント社

## 樋貝浩久

「こんにちは、ジャグリストの皆様。山梨県支部長を務めさせていただいております、(有)東和プリント社の樋貝浩久です。」——本誌2015年8月号の巻頭言の書き出しです。あれから一年、今年度からジャグラ本部の副会長と関東地方協議会の地協会長をセットで務める事に成りました。やはり運が良いのか悪いのかと考えます。

前回は、「子どもの頃からジャグリスト」というテーマで書きました。今回は何を書こうかと、前回の文章を読み返してみました。前回の文中に書いたジャグラ参与の(有)平和プリント社・志村社長が今年4月に他界されました。当社の先代社長(父)と志村社長と小宮山プリント社・小宮山社長の三人で、毎年、全国大会に参加していた事を思い出しました。三人は個々に特徴があり、志村社長は全国の仲間から得た新技術等を山梨で広め、小宮山社長はガリ版で綺麗な絵葉書を作成する技術が凄く、当社先代はガリ版の印刷が早いと、子どもの頃に聞いた記憶があります。

今の会員は、山梨の軽印刷の成り立ちを知らない方が多いと思います。怪我や病気で身体障害者になってしまった方に支援学校でガリ版を教えたそうで、それから起業した社長さんが多い様です。当社にも昔は数人、身障者の方が居ました。勿論、当社の先代もそうでした。当社先代の時代などは、全国大会に行く交通機関は半額なので助かると言っていた覚えも有ります。

この一年は会社移転等も有って、忙しく過ぎ去りました。移転と社屋解体で不用品を整理する事が出来ましたが、色んな物が埋もれていて懐かしかったです。持ち運びの出来るガリ版のライトテーブルや写植機や電動和文タイプライターや電子組版機やMac・PC等々。場所があれば軽印刷の組版博物館でも出来るかなと思いましたが。タイプの活字も多く、これは高値に

成るかなと思いましたが、処分代でツープーでした。

移転に伴い、モノクロとカラーのオンデマンド機を増設しましたが、なかなか稼働率が上がりず悩みの種です。山梨だと官公庁の仕様書に「オフセット又はオンデマンド可」と記載されていないので、受注してもオフセット印刷してしまうからです。多分、自心のどこかで「印刷屋はインクだ」って、トナーを否定している部分があるのじゃないかな。

今、山梨の会員から良く聞くのは、「現状の印刷機・製版機等が壊れたら！」という問題です。印刷機は、手入れをしていれば耐用年数をはるかに超えて20年位は動きますが、部品供給が無くなり直せなくなる。その時オンデマンドにシフトするか会社を閉めるかと、岐路に立っているメンバーも居ます。そこで本来の組合活動という観点で、メンバー同士で仕事のやり取りを行う方向を考えています。まずは、各会社の設備や得意分野を開示したり、新機器の導入の時、同じ機器を導入しないで別の機器にするなど、メンバーの協力体制を整える事で、結構仕事が回ると思います。考えが甘いと言われるかも知れませんが、一人勝ちより、メンバーが減らない(廃業防止)方が良いと思っています。多分、この考えが強くなったのは、支部長になったからでしょうね。

ジャグラ本部の副会長になって不安でしたが、前号の巻頭言を書いた九州大分の池邊副会長、東京の早坂理事、東北宮城の大橋理事、中国広島宮崎の宮崎理事など、SPACE-21で同期だった方々が居ますので、なんとか務めることができるかなと安堵しています。まずは関東ブロックの会員増強を考えていますが、後継者(若手・次世代)の発掘が急務です。会社を継承した時に組合の良さを伝授していないと退会してしまいます。喰い止める為にはSPACE-21への勧誘が有効だと思います。それを説明する為にも、支部長会議等には、若手に同行して貰うことが一番です。各県支部長様のご協力が必要です。宜しくお願い致します。



2017年 酉年

# 年賀状商戦の準備は お早めに!

各種データのダウンロードを特設サイトで開始しました

店頭用  
ポスター



見本帳  
A4判8p



入選作  
100点



差替え  
文例集

◆文例サンプル 年賀状の「差」は、下記の文例サンプルの内容と差し替える事が可能です。

<ビジネス>				<一般>				<結婚>				<ファミリー>				<誕生>		<移転>						
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
[Business examples text]				[General examples text]				[Marriage examples text]				[Family examples text]				[Birth examples text]		[Relocation examples text]						

**Download** は特設サイトから  
<http://www.jagra.or.jp/nenga2017/>

本誌同封の見本帳サンプル (A4判8ページ) のデータが特設サイトからダウンロードできます!  
掲載点数は充実の100点! 各見本のサイズも大きくなって、より見やすくなりました。

見本帳サンプルのカスタマイズは自由です!  
地元の風景・縁起物など、各社お手持ちの年賀状データに差替えてのご使用など、見本帳サンプルのカスタマイズは自由です。

入選作100点の個別利用も可能です!  
お好みのデザインデータを、各社オリジナルの見本帳に組み込んでのご利用も可能です。

ご不明な点はジャグラ事務局・並木 or 酒井までお気軽にお問い合わせください。  
**tel.03-3667-2271**

第52年度(平成28年度)事業推進体制について

# 「強いジャグラー」を実現する、事業推進体制を整えました。


札幌大会で中村会長が選任され2か月が経過しました。ジャグラーの各事業部もおおむね活動が開始され、事業の具体化が進んできています。今期は中村会長になり、組織的な変更や名称変更も多くありましたので、その説明を含めてジャグラーの第52年度事業推進体制を紹介します。

..... 第52年度 ジャグラー組織図 .....





..... 各事業の詳細と構成メンバーなど .....

事業・委員会・部会・WG	役職	構成メンバー	担当内容・抱負
ジャグラー運営基盤戦略会議	議長	中村 耀 会長 	運営基盤戦略は「強いジャグラー」をつくるための会議です。「強いジャグラー」とは、会員一社一社が経営基盤を強化していく次世代の姿です。それを実現するには、本部と支部を繋ぐ要となる地協の機能を強化する必要があります。そのため、地協会長をメンバーにした運営基盤戦略会議を立ち上げたものです。 運営基盤戦略会議の目的は、各部会の事業を全体的に把握し、相乗効果の見込める事業はリンクさせ、総合力によってジャグラー会員に対する本部事業への理解と、メリットを創出する。ジャグラー運営基盤戦略会議は、各委員会・部会活動とジャグラーの方針を一体化するための調整機関としての役割を担っていく。また、強固な組織作りと対外的なPRにより組織拡大の機運を高めていきたい。
〔1〕 総務事業	担当副会長	岩下 登 副会長 	今年度より組織拡大を含む総務事業（総務・財政、広報、組織拡大）担当になりました。幸いに今年度から各委員会・部会には委員長が就任しますので、各委員会・部会の動きを総合的に見ていき、ジャグラーとしての運営が効果的になるようにしていきたいと思っています。そして、組織の強化とともに、会員にとってより一層魅力のあるジャグラーとの評価が頂けるように努めますので、ご支援の程よろしくお願いたします。
	総務・財政委員会 (賛助会員・会館運営含む)	委員長 山本 耕司 理事 中村 耀 会長 (財政) 熊谷 正司 副会長 樋貝 浩久 副会長 菅野 潔 副会長 佐藤 順 副会長 岩下 登 副会長 池邊 寛 副会長 沖 敬三 専務理事 守田 輝夫 常務理事	・総務全般 ・賛助会員 ・財政 ・会館運営
	組織拡大部会	部会長 高野 直樹 茨城 田中 秀樹 東京・城東 運営基盤戦略会議メンバー	・組織拡大 ・組織強化
	広報委員会	委員長 早坂 淳 理事 中村 耀 会長 沖 敬三 専務理事 齋藤 成 東グラ専務理事 田中 秀樹 東京・城東 藤尾 泰一 外部委員 守田 輝夫 常務理事	・機関誌 ・ウェブ ・組織拡大に向けた情報発信

事業・委員会・部会・WG	役職	構成メンバー	担当内容・抱負
〔2〕 教育・技術事業	担当副会長	熊谷 正司 副会長 	今期は教育・技術事業の担当副会長に就任しました。教育・技術事業の活動には「教育・技術」「ジャグラ BB」「ジャグラコンテスト」「作品展」があり、いずれも会員の方が身近に感じることができる活動です。ジャグラ BB も 10 周年を迎えることにより、このたび HP も全面リニューアルをすることとなりました。会員の方々にとって今一番必要な技術情報は何なのか、それをわかり易くジャグラ BB を通して提供してまいりたいと思います。
	教育・技術委員会	委員長 宮崎 真 理事 熊谷 正司 副会長 中村 耀 会長 大橋 邦弘 理事 齋藤 秀勝 理事 笹岡 誠 理事 原田 大輔 理事 谷川 聡 理事 松永 英明 鹿兒島 沖 敬三 専務理事 守田 輝夫 常務理事	・教育(デジタル教育を含む)、技術情報の提供(ジャグラ BB 等を含む) ・DTP 教室の運営 ・ジャグラ BB の運営
	ジャグラ BB 企画部会	部会長 原田 大輔 理事 笹岡 誠 理事 齋藤 秀勝 理事 影山 史枝 外部委員	・ジャグラ BB の番組企画等
	ジャグラコンテスト推進部会	部会長 笹岡 誠 理事 熊谷 正司 副会長 齋藤 秀勝 理事 谷川 聡 理事 宮崎 真 理事 松永 英明 鹿兒島 沖 敬三 専務理事 (以下は専門委員) 笹岡 誠 理事 影山 史枝 外部委員/DTP スクール講師 その他	・ジャグラコンテストの検討
	作品展部会	部会長 岡澤 誠 理事 中村 耀 会長 経営委員 マーケティング委員 教育・技術委員 東京委員×2名 埼玉委員 千葉委員 神奈川委員 川井 信良 日本自費出版ネットワーク委員 岩根 順子 同上 沖 敬三 専務理事 守田 輝夫 常務理事	・ジャグラ作品展の運営、審査

事業・委員会・部会・WG	役職	構成メンバー	担当内容・抱負
〔3〕 経営革新事業	担当副会長	佐藤 順 副会長 	今年度は、経営より経営革新事業に変更になり、「経営革新」と BCP より衣替えした「CSR」を担当します。中村新会長は「強いジャグラ」と「会員目線に立った事業」をコンセプトにしていますので、会員のためになる事業を心掛けていきたい
	経営革新委員会	委員長 青木 滋 理事 中村 耀 会長 佐藤 順 副会長 岩下 登 副会長 原田 大輔 理事 谷川 聡 理事 山根 章 東京・千代田 野口 聡 東京・文京 関 信行 東京・城東 山本 一幸 広島 沖 敬三 専務理事	・経営対策・料金問題への対応 ・業界環境への対応 ・会員企業への経営情報提供 ・年賀状デザインコンテストの実施
	CSR (BCP) 部会	部会長 増田 光仁 理事 中村 耀 会長 比嘉 良孝 東京・三多摩 岡 達也 大阪 松下 忠 和歌山 岸 徹 兵庫 沖 敬三 専務理事	・BCP 対策 ・CSR 対策
〔4〕 市場開拓・マーケティング事業	担当副会長	池邊 寛 副会長 	今年度より市場開拓・マーケティング事業を担当します。前期はマーケティング委員に就任していました。今期から活動を分かりやすくするために市場開拓・マーケティングと変更しましたが、活動の本質は変わらないと思いますので、引き続き会員の事業活動の一助となる成果を出せるよう活動していきたい。
	市場開拓・マーケティング委員会	委員長 齋藤 秀勝 理事 池邊 寛 副会長 早坂 淳 理事 笹岡 誠 理事 中村 盟 理事 森岡 正博 東京・文京 林 泉 東京・城東 岡 達也 大阪 SPACE-21 メンバー 黒沢 武志 石川 熊倉 良起 石川 田治 宏敬 大阪 守田 輝夫 常務理事	・市場開拓・需要の開拓 ・新商品の開発 ・新商品・新技術・新サービス・新商材等の情報提供
〔5〕 環境事業	担当副会長	菅野 潔 副会長 	環境事業を担当致します。環境規制は、法令の改正に伴い年々法規制が厳しくなっており、周辺地域や社員の健康への配慮を考えた営業活動を行うことは、企業の社会的責任 (CSR) としてお取引先への信頼度にもつながることになります。こうした内容に対応するために事例等を紹介しながら分かりやすく伝え、実際に利用して頂けるような成果物を作りたと思っています。
	環境委員会	委員長 尾形 文貴 理事 菅野 潔 副会長 善甫 博史 山口 露木 貴弘 神奈川 谷口 理恵 東京・城東 小幡 利之 大阪 沖 敬三 専務理事	・環境対策・GP 制度の普及 ・環境優良工場表彰への対応



事業・委員会・部会・WG	役職	構成メンバー	担当内容・抱負
〔6〕 個人情報保護事業	担当副会長	樋貝 浩久 副会長 	個人情報保護事業を担当します。これまで個人情報保護にはあまり関心がなかったのが実情ですが、基本的にはジャグラ会員の「個人情報保護の推進」「プライバシーマークの普及」を目指して活動していきます。また、弊社もプライバシーマークの認証取得を目指すことにしました。
	個人情報保護委員会 (プライバシーマーク審査会を含む)	委員長 野田 晃司 理事 審査会長 清水 良二 弁護士	・個人情報保護の推進 ・プライバシーマークの普及
	※プライバシーマーク審査会は外部委員が過半数である必要がある	外部委員 木下 堯博 工学博士 外部委員 三浦 澄雄 サレジオ工専名誉教授 外部委員 福長 恵子 公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会	
	※「オブ」=プライバシーマーク審査会はオブザーバーの意味	委員 林田 桂一 東京・城東 委員 樋貝 浩久 副会長 オブ 深海 正洋 東京・港 オブ 中村 盟 理事	
	個人情報保護事業の監事	監事 生田 一彦 東京・文京	・個人情報保護とプライバシーマーク付与決定業務の監査
個人情報ガイドブック作成WG(休止中) 再開予定 = H29-09までの間	WG長 野田 晃司 理事 個人情報保護委員会業界委員 個人情報保護委員会業界委員 斎藤 成 東グラ専務理事	・個人情報ガイドブックの作成	
〔7〕 次世代対策事業	担当理事	中村 盟 理事 	吉岡前会長の時から青年部に対する期待の大きさを感じています。青年部の良さを感じることができるようにすることは、イコールジャグラの良さを感じることができることと思いますので、引き続きSPACE-21の活動を支援していきたい。
	SPACE-21	代表幹事 佐藤 元 大阪 = 理事 名久井龍夫 岩手 熊谷 健司 秋田 稲本 創 茨城 小澤孝一郎 山梨 齋藤 秀勝 東京・港 = 理事 黒澤 武志 石川 岡本 泰 愛知 宮崎 真 広島 = 理事 本村 豪経 福岡 高光 正義 熊本 安達 陸男 大分 池水 孝弘 鹿児島	・次世代対策



ジャグラの事業についての

**ご意見・ご要望をお寄せください!**

こうして欲しい、こうしたら?

本部事務局 tel.03-3667-2271/fax.03-3661-9006/メールedit@jagra.or.jp

# キャリアアップ助成金が 拡充されます

平成 28 年 10 月より

厚生労働省は人材育成に取り組む事業者を支援するため、「キャリア形成促進助成金」制度を推進していますが、この制度の運用が平成 28 年 10 月より一部変更になります。

×

キャリア形成促進助成金は、中小企業を含む事業者が人材育成をする際に課題として浮かび上がってくる、

- ①人材確保（若手労働者の確保・育成。高齢人材の活用促進。高度技能・技術の伝承）
  - ②技術進歩への対応（IT 化・デジタル化等への的確な対応。アプリケーションソフトの運用技術の習得）
  - ③経営環境変化の対応（マネジメント人材の育成。提案型営業能力のある人材の育成。あらゆる業種に対応した知識の習得）
- 等を解決する方策の支援として活用できるもので、多くの印刷事業者からも高い評価を得ている助成金です。

## コースの種類（内容）

※以下は中小企業が対象で、事業主団体が対象のものは除外しています

### 1) 雇用型訓練コース

- ①特定分野認定実習併用職業訓練  
製造業が実施する厚生労働大臣の認定を受けた OJT 付き訓練
- ②認定実習併用職業訓練  
厚生労働大臣の認定を受けた OJT 付き訓練
- ③中高年齢者雇用型訓練  
直近 2 年間に継続して正規雇用の経験のない中高年齢新規雇用者等を対象とした OJT 付き訓練

### 2) 重点訓練コース

- ①若年人材育成訓練  
採用 5 年以内で、35 歳未満の若年労働者への訓練
- ②熟練技能育成・承継訓練  
熟練技能者の指導力強化、技能小計のための訓練、認定職業訓練



詳細は厚生労働省 HP (<http://www.mhlw.go.jp/>) でご確認ください。トップページより「キャリアアップ助成金」で検索！

- ③成長分野等・グローバル人材育成訓練  
成長分野や、海外関連業務に従事する人材育成のための訓練
- ④中長期的キャリア形成訓練  
厚生労働大臣が専門実践教育訓練として指定した講座
- ⑤育休中・復職後等人材育成訓練  
育児休業中・復職後・再就職後の能力アップのための訓練

### 3) 一般型訓練コース

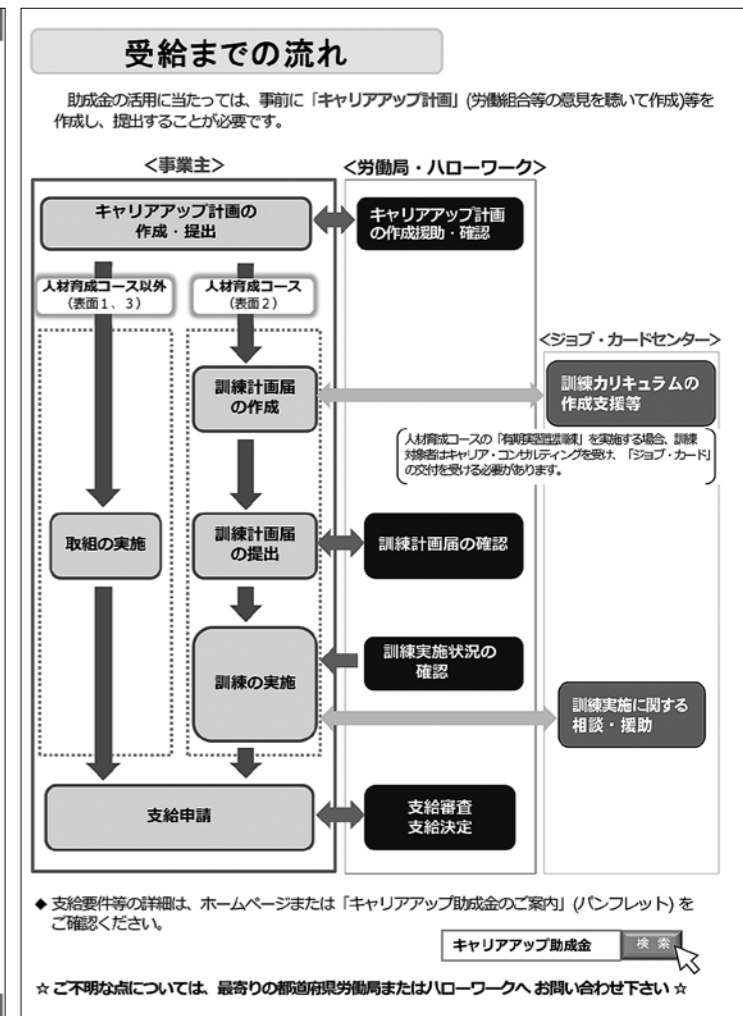
- ①一般企業型訓練  
1) 2) 以外の訓練

### 4) 制度導入コース

- ①教育訓練・職業能力評価制度  
従業員に対する教育訓練が職業能力評価を、ジョブ・カードを活用し計画的に行う制度を導入し、適用した場合に助成
- ②セルフ・キャリアドック制度  
一定の要件を満たすセルフ・キャリアドック制度を導入し、適用した場合に助成
- ③技能検定合格報奨金制度  
技能検定に合格した従業員に報奨金を支給する制度を導入し、適用した場合に助成
- ④教育訓練休暇等制度  
教育訓練休暇制度または教育訓練短時間勤務制度を導入し、適用した場合に助成
- ⑤社内検定制度  
社内検定制度を導入し、実施した場合に助成

キャリアアップ助成金のご案内	
助成内容	助成額（ ）は中小企業以外の額
<b>1 正社員化コース</b> 有期契約労働者等を ・正規雇用労働者・多様な正社員等に転換 または ・直接雇用した場合	①有期→正規：1人当たり60万円（45万円） ②有期→無期：1人当たり30万円（22.5万円） ③無期→正規：1人当たり30万円（22.5万円） ④有期→多様な正社員（勤務地・職務限定、短時間正社員）：1人当たり40万円（30万円） ⑤無期→多様な正社員：1人当たり10万円（7.5万円） ⑥多様な正社員→正規：1人当たり20万円（15万円） ※派遣労働者を派遣先で正規雇用等として直接雇用する場合、 ①①1人当たり30万円（中小企業以外も同様）加算 ①②1人当たり15万円（中小企業以外も同様）加算 ※母子家庭の母等又は父子家庭の父等の場合、 ①③④⑤⑥のいずれかの場合、 ①1人当たり10万円（中小企業以外も同様）加算 ②～⑤5万円（中小企業以外も同様）加算 ※勤務地・職務限定正社員制度を新たに規定した場合、 ④⑤1事業所当たり10万円（7.5万円）加算
<b>2 人材育成コース</b> 有期契約労働者等に ・一般職業訓練（Off-JT） ・有期実習型訓練（ジョブ・カード）を利用したOff-JT（OJT） ・中長期的キャリア形成訓練（Off-JT） を行った場合	Off-JT（1人当たり） 賃金助成：1時間当たり800円（500円） 経費助成： 一般職業訓練、有期実習型訓練 最大30万円（20万円） 中長期的キャリア形成訓練（有期実習型訓練後に正規雇用等に転換された場合） 最大50万円（30万円） OJT（1人当たり） 実施助成：1時間当たり800円（700円）
<b>3 処遇改善コース</b> 有期契約労働者等に次のいずれかの取組を行った場合 ①すべて又は一部の基本給の賃金規定等を改定し、2%以上増額させた場合 ②正規雇用労働者との共通の処遇制度を導入・適用した場合 ③週所定労働時間を25時間未満から30時間以上に延長し社会保険を適用した場合	①賃金規定等改定 ・すべての賃金規定等改定： 対象労働者数 1～3人：10万円（7.5万円） 4～6人：20万円（15万円） 7～10人：30万円（20万円） 11～100人：3万円（2万円）×人数 ・雇用形態別、職種別等の賃金規定等改定 対象労働者数 1～3人：5万円（3.5万円） 4～6人：10万円（7.5万円） 7～10人：15万円（10万円） 11～100人：1.5万円（1万円）×人数 ※「職務評価」の手法の活用により実施した場合、1事業所当たり20万円（15万円）加算 ②共通処遇推進制度 ・法定外の健康診断制度を新たに規定し4人以上実施：1事業所当たり40万円（30万円） ・共通の賃金規定等の導入・適用：1事業所当たり60万円（45万円） ③短時間労働者の週所定労働時間を25時間未満から30時間以上に延長：1人当たり20万円（15万円）

※すべてのコースにおいて、助成人数や助成額に上限があります。  
 ※詳細なパンフレットはホームページに掲載しております。厚生労働省HP「キャリアアップ助成金」



関連リーフレットが厚生労働省HPよりダウンロードできます

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11650000-Shokugyouanteikyokuhakenyukiroudoutaisakubu/0000132715.pdf>



## 助成額・助成率

※以下は中小企業が対象で、事業主団体が対象のものは除外しています

### 1) 雇用型訓練コース

- ①特定分野認定実習併用職業訓練  
Off-JT 賃金助成（1人1時間当たり）＝ 800円  
Off-JT 経費助成＝三分の二  
OJT 実施助成（1人1時間当たり）＝ 700円
- ②認定実習併用職業訓練
- ③中高年齢者雇用型訓練  
②③いずれも下記。  
Off-JT 賃金助成（1人1時間当たり）＝ 800円  
Off-JT 経費助成＝二分の一  
OJT 実施助成（1人1時間当たり）＝ 700円

### 2) 重点訓練コース

- ①若年人材育成訓練
- ②熟練技能育成・承継訓練
- ③成長分野等・グローバル人材育成訓練
- ④中長期的キャリア形成訓練
- ⑤育休中・復職後等人材育成訓練  
①～⑤いずれも下記。  
Off-JT 賃金助成（1人1時間当たり）＝ 800円  
Off-JT 経費助成＝二分の一  
OJT 実施助成（1人1時間当たり）＝ 対象外

### 3) 一般型訓練コース

- ①一般企業型訓練  
Off-JT 賃金助成（1人1時間当たり）＝ 400円  
Off-JT 経費助成＝三分の一  
OJT 実施助成（1人1時間当たり）＝ 対象外

#### 4) 制度導入コース

- ①教育訓練・職業能力評価制度
- ②セルフ・キャリアドック制度
- ③技能検定合格報奨金制度
- ④教育訓練休暇等制度
- ⑤社内検定制度
  - ①～⑤いずれも下記。
  - 制度導入に対して = 50 万円

### 受給手続きの流れ

#### 1 a) 雇用型訓練コース (①特定分野認定実習併用職業訓練、②認定実習併用職業訓練)

- ①訓練計画の作成・提出
  - 従業員に対して実施する訓練計画を作成
    - ・企業内における OJT と教育訓練機関で行われる Off-JT を効果的に組み合わせて実施する訓練であること
    - ・実施期間が6か月以上2年以下であること
    - ・総訓練時間が1年当たりの時間数に換算して850時間以上であること
    - ・総訓練時間に占める OJT の割合が2割以上8割以下であること。
    - ・「事業内職業能力開発計画」の策定、「職業能力開発推進者」の選任が必要
    - ・原則、訓練実施1か月前までに「訓練実施計画届け」と必要な書類の労働局への提出が必要

- ②訓練の実施
  - ・企業内における OJT と教育訓練機関で行われる Off-JT
  - ・訓練終了後に評価シート（ジョブカード様式）により職業能力の評価を実施

- ③支給申請書の提出
  - ・訓練終了後2か月以内に「支給申請書」と必要な書類の労働局に提出

- ④助成金の受給
  - ・支給審査の上、支給・不支給を決定（審査には時間を要します）

#### 1 b) 雇用型訓練コース (③中高年齢者雇用型訓練)

- ①訓練計画の作成・提出
  - 従業員に対して実施する訓練計画を作成
    - ・企業内における OJT と教育訓練機関で行われる Off-JT を効果的に組み合わせて実施する訓練であること

- ・実施期間が3か月以上6か月以下であること
- ・総訓練時間が6か月当たりの時間数に換算して425時間以上であること
- ・総訓練時間に占める OJT の割合が1割以上9割以下であること。
- ・「事業内職業能力開発計画」の策定、「職業能力開発推進者」の選任が必要
- ・原則、訓練実施1か月前までに「訓練実施計画届け」と必要な書類の労働局への提出が必要

- ②訓練の実施
  - ・企業内における OJT と教育訓練機関で行われる Off-JT
  - ・訓練終了後に評価シート（ジョブカード様式）により職業能力の評価を実施

- ③支給申請書の提出
  - ・訓練終了後2か月以内に「支給申請書」と必要な書類の労働局に提出

- ④助成金の受給
  - ・支給審査の上、支給・不支給を決定（審査には時間を要します）

#### 2) 重点訓練コース (①若年人材育成訓練、②熟練技能育成・承継訓練、③成長分野等・グローバル人材育成訓練、④中長期的キャリア形成訓練、⑤育休中・復職後等人材育成訓練)

#### 3) 一般型訓練コース (①一般企業型訓練)

- ①訓練計画の作成・提出
  - ・「事業内職業能力開発計画」の策定、「職業能力開発推進者」の選任が必要
  - ・従業員に対して実施する訓練計画を作成（1コース20時間以上、Off-JT であること）
  - ・原則、訓練実施1か月前までに「訓練実施計画届け」と必要な書類の労働局への提出が必要

- ②訓練の実施
  - ・事業所内で内部・外部講師によって行われる訓練、教育訓練施設で行われる訓練など

- ③支給申請書の提出
  - ・訓練終了後2か月以内に「支給申請書」と必要な書類の労働局に提出

- ④助成金の受給
  - ・支給審査の上、支給・不支給を決定（審査には時間を要します）

#### 4) 制度導入コース

- ①訓練計画の作成・提出
  - 次の事項などを検討し、制度導入・適用計画を作成してください。
    - 導入する人材育成制度の種類
    - 制度の導入・適用のスケジュール
    - 対象とする労働者
    - 挿入・適用する制度の内容
  - ・「事業内職業能力開発計画」の策定、「職業能力開発推進者」の選任が必要
  - ・制度導入・適用計画の初日の前日から起算して6か月前から1か月前までに、必要な書類の労働局への提出が必要
- ②制度の導入
  - ・導入する制度の就業規則または労働協約への規定

## 厚生年金保険・健康保険の適用拡大が始まります

平成28年10月より、パートタイマー等の短時間労働者も新たに厚生年金保険等の適用対象となるほか、健康保険の被扶養認定の同居条件が一部変更になりますので、ご注意ください。

### ■厚生年金保険

厚生年金保険は、「法人の事業所」「従業員が常時5人以上いる個人事業所」は加入しなければならない（強制加入）制度です。（それ以外でも従業員の過半数が同意した場合は事業主が申請し厚生労働大臣の認可を得て加入する任意加入もあります）

今回の適用拡大は、  
①被用者でありながら被用者保険の恩恵を受けられない非正規労働者に社会保険を適用し、セーフティネットを強化することで、社会保険における「格差」を是正  
②社会保険制度における、働かない方が有利になるような仕組みを除去することで、特に女性の就業意欲を促進して、今後の人口減少社会に備える  
ことを目的として実施されるものです。

事業者としても、人材確保や労働環境の整備のためにも遺漏のないようご対応下さい。

- ・就業規則または労働協約、事業所内職業能力開発計画などの労働者への周知
- ③制度の適用
  - ・労働局長が認定した制度導入・適用計画に従い、労働者に制度を適用
- ④支給申請書の提出
  - ・制度を導入し実施（最低適用人数の一番最後の者の実施）した日の翌日から起算して6か月経過した日から2か月以内に「支給申請書類」を労働局に提出
- ⑤助成金の受給
  - ・支給審査の上、支給・不支給を決定（審査には時間を要します）

### ◎事業所の条件

今回の変更は、このうち同一の法人番号で厚生年金保険の被保険者数（加入者数）の合計が、1年で6ヶ月以上500人を超えることが見込まれる事業者（特定適用事業所）の場合で、パートタイマー等の短時間労働者の適用拡大の対象となります。（加入者数は、事業所ごとではなく、法人番号ごとになることにご注意ください）

### ◎短時間労働者の条件

- パートタイマー等の短時間労働者の条件は、  
①週の所定労働時間が20時間以上  
②雇用期間が1年以上見込まれること  
③月額賃金が8万8000円以上（各種手当を含み所定内賃金の額）  
④学生でないこと  
の4点が条件となります。

### ■健康保険

同じく平成28年10月より、健康保険の被扶養認定の同居要件のうち、兄弟の同居要件が廃止されます（弟妹の同居条件は以前よりありませんでしたので、兄弟もそれに準ずる形になりました）。



お知らせ

# 中小企業経営強化法 が始まっています

7月スタート、申請書は2枚だけ！

経済産業省中小企業庁は、中小企業の経営力向上を目的とした新たな施策を計画していましたが、この7月より「中小企業経営強化法」としてスタートしました。同法は、人材育成・設備投資等による生産性の向上を支援するもので、計画の申請書は2枚で済むこと、設備等の固定資産税が半分にすることが大きなウリとなっています。

×

## 同法による支援の流れ

### 1) 経営力向上計画を策定

「経営力向上計画」とは人材育成、コスト管理等のマネジメントの向上や、設備投資等により、事業者の生産性を向上させるための計画です。具体的には、現状認識、目標、取組内容などを記載する実質2枚の様式により策定します。なお、経営力向上計画の策定に関して、認定支援機関などがサポートする点もこれまではない施策です。

①計画策定に際しては、申請の手引きや本計画の概要をウェブで紹介しています。

②計画策定・認定にあたっては、支援機関によるサポートを受けられます。

### 2) 担当省庁による認定

事業分野ごとの担当省庁に事業分野別指針等によって計画を提出し、認定を受けます。提出は郵送でも受け付けています。(詳しくはホームページでご確認ください)

※印刷業の場合は経済産業省が担当省庁となります。

### 3) 固定資産税の軽減措置(3年間、1/2に軽減)

- ①利用できる方:資本金1億円以下の会社、個人事業主など。
- ②対象設備:160万円以上の機械及び装置(新品)。
- ③要件:生産性が年平均1%以上向上する設備。
- ④その他の金融支援:中小企業向け=信用保証協会による信用保証の枠の拡大など、中堅企業向け=独立行政法人中小企業基盤整備機構の債務保証など。

### 4) 経営力の強化を実現

中小企業等経営強化法 7月よりスタート!

中小企業庁

「経営力向上計画」で  
稼ぐ力を強化する  
チャンスです!




人材育成、設備投資などによる、  
生産性向上を集中支援!

計画策定の  
サポートも充実!

認定計画に基づき取得した一定の機械及び装置の  
固定資産税が半分に!  
その他、様々な金融支援!

詳しくは、裏面へ!

中小企業等経営強化法(平成28年7月施行)  
による支援の流れ

01	経営力向上計画を策定 申請書はたった2枚	「経営力向上計画」とは 人材育成、コスト管理等のマネジメントの向上や、 設備投資等により、事業者の生産性を向上させる ための計画です。 具体的には、現状認識、目標、取組内容などを記 載する実質2枚の様式により策定します。
	認定支援機関などが サポート	計画策定に際しては、申請の手引きや本計画の概要を以下のページに掲載しております。 詳しくはこちら → <a href="#">経営力向上計画</a>  計画策定・認定にあたっては支援機関によるサポートを受けられます! 詳しくはこちら → <a href="#">認定支援機関</a> 
02	担当省庁による認定	事業分野ごとの担当省庁に事業分野別指針等によって計画を提出し、認定を受けます。 郵送でも受け付けています。 詳しくはホームページでご確認ください。
03	固定資産税の 軽減措置 3年間、1/2に軽減	利用できる方:資本金1億円以下の会社、個人事業主など 対象設備:160万円以上の機械及び装置であること(新品) 要件:生産性が年平均1%以上向上する設備、など
	その他の金融支援	中小企業向け:信用保証協会による信用保証の枠の拡大、など 中堅企業向け:独立行政法人中小企業基盤整備機構の債務保証、など 以上のような様々な支援が受けられます。
04	経営力の強化を実現	お問合せ先 経営力向上計画相談窓口 中小企業庁 事業環境部 企画課 TEL:03-3501-1957(平日9:00-12:00,13:00-17:00) 詳しくはこちら → <a href="#">経営力向上計画</a> 

同法案内リーフレット

申請の手引きや本計画の概要は、以下のページに掲載しております。「経営強化法」で検索してください。

<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/kyoka/>



## お知らせ

# 第19回 日本自費出版文化賞 入賞作品決まる!

大賞は“該当無し”という結果に終わる

ジャグラが主催し日本自費出版ネットワークが主管する日本自費出版文化賞の最終審査会が9月7日(水)に行われ、最終結果の記者発表が開催されました。

×

## 全国から512点の応募

記者発表冒頭、主催者ジャグラの中村会長より、『日本自費出版文化賞の最終審査員の皆さま、選考お疲れさまでした。ジャグラは、中小印刷事業者で構成する団体ですが、昔から自費出版を重要なマーケットとして取り組んできております。そのジャグラ会員の有志が始めた日本自費出版文化賞も第19回となります。ここまで開催を重ねてこられましたのも、日本自費出版ネットワークの役員をはじめ、皆さまのおかげと感謝しております。いよいよ来年は第20回になりますが、20回と言わず、30回、50回をめざして自費出版文化の振興にご協力くださいますようお願い申し上げます』と挨拶がありました。

今回で第19回を数える日本自費出版文化賞は、2015年11月から2016年3月にかけて募集が行われ、全国から512点の応募がありました。部門別の内訳は以下のとおりです。

地域文化部門	60点	個人誌部門	88点
小説部門	87点	エッセイ部門	87点
詩歌部門	87点	研究・評論部門	75点
グラフィック部門	43点		

## 選考の経緯・表彰

3月の締め切りを受け、5月からは専門委員による一次選考が6月一杯行われ、約200点の作品を選出しました。これを受けて、7月9日の二次審査には専門選考委員12名が参加し審査が行われました。その結果、合計71点の入選候補作品が選出されました。

この入選候補作品の中から9月7日に行われた最終選考会で、部門賞7点、特別賞6点(協賛各社賞など)、入選58点が正式に決まりました。なお、今回は大賞に値する該当作品はありませんでした。表彰式は10月8日に東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷で開かれます。

## 各部門賞

### ●地域文化部門賞

書名 近江絹糸「人権争議」はなぜ起きたか、近江絹糸「人権争議」の真実 一五年間の彦根工場潜行活動を経て一  
著者 朝倉克己 / 滋賀県  
発行 サンライズ出版

### ●個人誌部門賞

書名 カミさんと走った500日 世界自転車の旅  
著者 宮田固 / 東京都  
発行 シナノ印刷

### ●小説部門賞

書名 棚の上のポストンバッグ  
著者 瀬戸みゆう / 山口県  
発行 亜細亜印刷

### ●エッセイ部門賞

書名 鎌倉染色彩時記  
著者 たなか牧子 / 神奈川県  
発行 大日本法令印刷

### ●詩歌部門賞

書名 益岡菜実句集「汽水」  
著者 益岡菜実 東京都  
発行 トーヨー社

### ●研究・評論部門賞

書名 食と農の原点を問う  
著者 門松経久 鹿児島県  
発行 南日本新聞開発センター



記者発表にて 左から藤野健一 / 編集者、成田龍一 / 大学教授、秋林哲也 / 編集者、中山千夏 / 小説家・自費出版ネットワーク代表、色川大吉 / 歴史家・選考委員長、鎌田慧 / ルポライター、佐藤和夫 / 哲学思想研究家、小池一子 / クリエイティブ・デザイナー、中村耀ジャグラ会長

## 最終選考会の模様



### ●グラフィック部門賞

書名 健太郎の遊びますーオレ・俺・おれのモノクロ写真集ー  
著者 妹尾健太郎 岡山県  
発行 サンユウ印刷

## 特別賞

### ●地域文化部門

書名 鳴門塩田絵巻  
著者 原画・文、緒方常雄、解説、小橋靖 / 徳島県  
発行 グランド印刷

### ●小説部門

書名 霧に隠れた里 御嵩のキリシタン  
著者 渡辺正司 / 岐阜県  
発行 一誠社

### ●詩歌部門

書名 詩集 くちびるのかたち  
著者 いちのせまりえ 広島県  
発行 亜細亜印刷

### ●研究・評論部門

書名 戦後アメリカの対日政策と日本の技術再興ー日本のテレビ放送・原子力導入と柴田秀利  
著者 奥田謙造 / 愛知県  
発行 モリモト印刷

書名 日本の都市を焼き尽くせ  
著者 工藤洋三 / 山口県  
発行 瞬報社写真印刷

### ●グラフィック部門

書名 愛蘭土ほろ酔いパブ紀行  
著者 村上かつみ / 宮城県  
発行 村上克己

## 入選作品

入選作品58点については、下記、日本自費出版ネットワークのHPをご参照ください。

<http://www.jsjapan.net/jssyonews19.htm>

## あなたの会社を守る ジャグラ・グループ保険

お問い合わせは  
ジャグラ事務局・酒井まで

tel.03-3667-2271

- 特長1 掛金が割安です(例:30歳男性、1口290円/月)
- 特長2 死亡時保障額は最高1600万円
- 特長3 事故による入院もワイドに保障
- 特長4 医師の診査はありません 告知のみでお申込みいただけます
- 特長5 掛金のお支払方法も簡単です

下記よりパンフレットがダウンロードできます  
<http://www.jagra.or.jp/official/main/2013/01/01132116.php>



# 7.15 理事会を開催

## 中村新体制での実質的な第一回



ジャグラは7月15日（金）午後2時よりニッケイビルにて平成28年度第三回理事会を開催した。中村新体制での実質的な第一回理事会となる。

×

### 第一号議案 役員の派遣、スケジュールに関する件

省略＝本誌スケジュール欄ご参照ください。

### 第二号議案 旅費規程の特例に関する件

①今回の理事会と7月29日に開催される「ジャグラ運営基盤戦略会議」においては、2週間前（または航空会社によっては1週間前）料金との差額を支払うことにしたい。

②羽田～ニッケイビル間の交通費を支給したい。支給額は一回（一往復）1500円とする。（参考：羽田空港～品川～浅草線～人形町～小伝馬町の片道＝730円）

#### 【提案理由】

①旅費規程に定める交通費については、平成28年3月に開催の理事会にて「3週間前の運賃相当額」に変更したが、今回、役員改選があり最初の理事会であるため、開催案内が「3週間前」より遅れた経緯があり、複数の理事より対応を求める要請があった。

②また、羽田空港～ニッケイビル間の交通費についても支弁を求める意見が出ている。

#### 【検討の経緯】

異議なく第二号議案は満場一致で承認した。

### 第三号議案 公益法人改革に関する件（報告）

公益法人改革に伴い、平成28年3月31日現在の会計内

容を「公益目的支出計画実施報告書等」として、平成28年6月27日に内閣府に報告した。（次ページ掲載2表ご参照ください。）

#### 【検討の経緯】

異議なく第三号議案は満場一致で承認した。

### 第四号議案 第52年度事業推進体制に関する件

第52年度（平成28年度）事業推進体制を変更したい。省略＝本号4ページからの事業推進体制の記事参照。

#### 【検討の経緯】

異議なく第四号議案は満場一致で承認した。

### 第五号議案 その他の件

#### 1. 中越理事より発言

スケジュールは事前に正副会長に知らせて欲しい。→対応を検討することにした。

#### 2. 池邊理事の提案

会議に出席する際の交通費は3週間前であるが、今回、緊急に開催が決まった際は配慮があるということは理解した、賛成である。ただ、夜に開催する会議もあるので宿泊費についても配慮を検討してもらいたい。

機関誌の写真が暗い、黒い感じが強すぎる。

→対応を検討することにした。

#### 3. マーケティング委員会より

・360度撮影可能なシート（THETA ricoh）を貸し出しているので活用して欲しい。

以上

#### 【出席理事・監事】

会 長 中村耀  
副 会 長 菅野潔、佐藤順、岩下登、池邊寛  
専務理事 沖敬三  
常務理事 守田輝夫  
理 事 柳田道、大橋邦弘、尾形文貴、岡澤誠、野田晃司、早坂淳、増田光仁、齋藤秀勝、青木滋、中村盟、吉岡新、笹岡誠、原田大輔、伊藤政美、佐藤元、宮崎真、中越忠男  
監 事 山崎泰、池上晴英

#### 【欠席理事・監事】

副 会 長 熊谷正司、樋貝浩久  
理 事 谷川聡、山本耕司  
監 事 前沢寿博  
【会議の目的たる事項】  
第一号議案 役員の派遣、スケジュールに関する件  
第二号議案 旅費規程の特例に関する件  
第三号議案 公益法人改革に関する件（報告）  
第四号議案 第52年度事業推進体制に関する件  
第五号議案 その他の件  
※利害関係案件は0件であり、理事の離席はなかった。

### ●公益目的支出計画実施報告書

【平成27年度（平成27年4月1日～平成28年3月31日の概要）  
（定款第37条第1項第3号に基づく報告）

1.	公益目的財産額	257,431,570円
※	【参考】前事業年度末の公益目的財産額残額	238,109,010円
2.	当該事業年度の公益目的収支差額（①+②-③）	16,724,557円
	①前事業年度末日の公益目的収支差額	0円
	②当該事業年度の公益目的支出の額	58,493,067円
	③当該事業年度の公益目的収入の額	41,768,510円
3.	当該事業年度末日の公益目的財産残額	221,384,453円
4.	2. の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 おおむね、計画通りの執行となっている。	

### ●公益目的支出計画実施報告書

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の 完了予定事業年度の末日	① 計画上の完了の見込み	平成41年3月31日			
	② ①より早まる見込みの場合	平成 年 月 日			
	前事業年度	当該事業年度		翌事業年度	
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	257,431,570円	257,431,570円	238,109,010円	238,109,010円	221,384,453円
公益目的収支差額	18,306,160円	19,322,560円	28,154,684円	16,724,557円	28,096,297円
公益目的支出の額	58,110,160円	61,890,705円	68,552,684円	58,493,067円	68,634,297円
公益目的収入の額	39,804,000円	42,568,145円	40,368,000円	41,768,510円	40,538,000円
公益目的財産残額	239,125,410円	238,109,010円	219,802,850円	221,384,453円	193,288,156円

## Column あるといいなーの学生服リユース店を全国に拡大

e-中小企業ネットマガジンVol.739より転載

**身** 近な「困った」を解決する、あるといいなを有らしめる。起業、とくに女性が業を興す際の“黄金律”ともなるのが、自分自身のニーズ、ウオントを事業のタネとすることだろう。サンクラッド（高松市、馬場加奈子社長）は、ズバリ、馬場社長の困った、あるといいなから立ち上がり、誰もが「うまくいくわけがない」と見下したその事業は、今、全国各地に広がった。

**誰** もが「うまくいかない」と判断した事業とは、子どもたちの制服のリユース、つまり学生服やセーラー服を買い取って販売するビジネス。3人の子を持つシングルマザーの馬場さんは、高価ですぐに着られなくなる制服を買い揃えることの大変さを痛感。勤め先の職場でも、多くの同僚が同じ悩みを抱えているのを知る。さらに、昭和の時代は当たり前だった「おさがり」を融通し合うような風土が、少子化や近所づきあいの希薄化などから、無くなってしまったことも大変さに輪をかけていると見抜く。

**よ** し、それなら制服リユースのショップを開こう。家庭の事情から「起業しなければ」と考えていた馬場さんは2011年1月、高松市内にリユース店「さくらや」をオープンする。だが、数か月間、店には誰もやってこない。それでも毎日、寒中、子供たちとチラシをポスティングして回り、ブログを一日10回更新し続ける。ある日、一人の客が来て「こ

んな店が欲しかった」とつぶやく。その日を境に状況は一変。メディアが次々、取材に訪れ「さくらや」の認知度は急激に高まり、リユース事業は成長軌道に乗る。

**四** 国・高松で立ち上がったこのニューサービスは、メディアやブログの情報発信などから、やがて全国区の取り組みへと発展する。「さくらや」を知り、同じような店を開きたいといった人たちが各地に出現。現在、北は仙台から南は宮崎まで、十数店舗（準備中を含む）のさくらやパートナー店を構えるまでになっている。馬場社長は、パートナー店を都道府県すべてに設置する全国制覇を目指す一方で、「さくらや婦人会、お母さんネットワークを結成し、新しいことに挑戦したい」と、未知なる取り組みにも意欲も燃やしている。

**制** 服のリユースに際し、制服に付いている刺繍を外す作業が必要になったりする。同社では、そうした作業を近所の裁縫上手のおばあちゃんに一個200円で頼んだりする。そんなことから、馬場社長は「おばあちゃんの生きがい支援に役立つなど、地域に根ざしているのが私たちの仕事」と、同社の取り組みが地域密着型であることを強調する。ここへきて、馬場社長には講演依頼が舞い込むようになった。「講演、大歓迎。どこへも行きます」と話す馬場社長は、パートナー店と同様、講演での全国制覇も目指している。

## 印刷事業者の収益性向上に貢献する 『HP Latexプリンター』新製品3機種を発売

(株)日本 HP

(株)日本 HP は、「HP Latex プリンター」のラインアップを拡充し、中規模から大規模のサインディスプレイ印刷事業者向けに、生産性を強化し、低コストで成長分野に参入することを支援する大判プリンター 3 機種を発表した。

×

### ●「HP Latex 500 プリンターシリーズ」

1.62m 幅に対応する「HP Latex 560/570 プリンター」は、中規模から大規模の印刷事業者が、先行投資を抑えつつ、さまざまな印刷案件やピーク時の出力ボリュームに対応できる。

①約 1 分でロール紙のセットが可能なスピンドルレスの新しいメディア取り付け機構（ピボットテーブル）と自動スキュー調整機能、最大 55kg のロール紙に対応する高重量ロール設計、ステータスピーコン（「HP Latex 560 プリンター」はオプションで搭載可能）によるリアルタイムの印刷監視機能で無人印刷を支援。

②屋内モードで最大 23 平米/時の印刷速度により、高品質のジョブを高い生産性で実現。

③新しいピビットカラープリントモードにより、インク濃度を最大 50% 向上。新開発のワイパーローラーは、低コストのパナーや塩ビ粘着素材においても高品質印刷を実現。

④印刷素材やインクカートリッジの交換をはじめ、あらゆる作業をプリンター前面で実行できることにより、ワークスペースの有効利用を実現。

⑤大型の「HP Latex シリーズ」製品と容易に連携できるカラーエミュレーション機能を搭載。

⑥「HP Latex 570 プリンター」は 3 L の大容量インクカートリッジにより、インクカートリッジの交換作業と長尺印刷を効率化。

### ●「HP Latex 1500 プリンター」

新設計されたコンパクトサイズの 3.2m 対応「HP Latex 1500 プリンター」は、低コストながら大型機を生産性を備えたスーパーワイド対応の印刷ソリューションである。オプションにより、塩ビパナーや塩ビ粘着フィルム、テキスタイル、両

面印刷など、屋内外の幅広い用途において生産工程を迅速化することができる。

①印刷スピードは屋外品質モードで最大 74 平米/時、屋内品質モードで最大 45 平米/時を実現し、1200dpi の「HP サーマルインクジェット」プリントヘッドや自動ノズル補完機能、OMAS（オプティカルメディアアドバンスセンサー）、色を自動管理する内蔵分光測光器により、高い印刷品質を維持できる。

②第 3 世代の「HP Latex プリンティングテクノロジー」の採用により、出力後すぐに、完全に乾燥し、擦過性に優れた印刷物として活用することができる。

③さらに印刷事業者は、「HP Latex 1500 プリンター」を利用することにより、大規模および小規模印刷の双方におけるランニングコストの削減、コスト効率の高い 5 L の大容量インクカートリッジを活用した長時間の無人印刷、内部プリントサーバーとステータスピーコンを通じた印刷状況の一覧管理などが可能。

④さまざまなオプション製品（下記）を通じて、ビジネスニーズに応じた機能を柔軟に導入することが可能。

- ・デュアルロールキット：最大 1.6m 幅（64 インチ）のロールを 2 本並列で印刷が可能。
- ・インラインスリッター：出力物の切断を印刷中に行うことが可能。
- ・ロール to フリーフォール・キット：印刷の中断を低減し、印刷と仕上げ作業の同時進行が可能。
- ・両面デイトナイトキット：両面バックライト・アプリケーションの印刷を自動で行うことにより、ライト、フロントライト、バックライトを問わず、屋外広告ディスプレイにおいて精密なカラー印刷を実現。
- ・インクコレクターキット：テキスタイルやメッシュ素材のパナーなど、多孔性の素材に対応。

なお、3 機種とも「HP Latex Mobile App」に対応し、遠隔地からジョブ管理ができるため、夜間印刷などにおいて長時間の無人印刷が可能となっている。価格は以下のとおり。

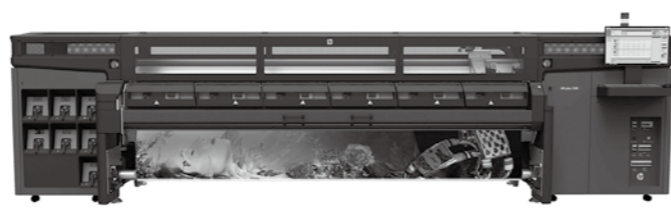
- ① HP Latex 560 プリンター 358 万円
- ② HP Latex 570 プリンター 398 万円
- ③ HP Latex 1500 プリンター 2780 万円



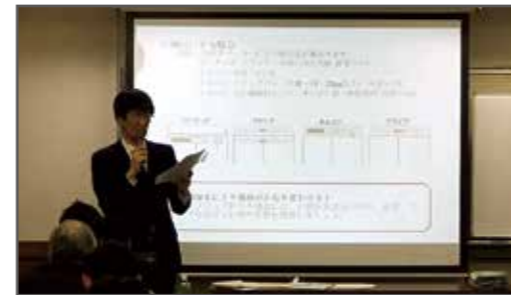
HP Latex 560 プリンター



HP Latex 570 プリンター



HP Latex 1500 プリンター



## 知っておきたい特殊印刷／加工「製袋加工」(全2巻)

「知っておきたい特殊印刷／加工」シリーズ第8弾。今回のテーマは封筒に用いられる「製袋加工」です。本番組では、オリジナリティあふれる「別製封筒」の受発注に必要な知識を、福井紙業・前田知伸氏が解説します。

※シリーズ第9弾のテーマは「上製本」「特殊製本」です。お楽しみに!

(時間各巻30～41分 パスワード要)



### 私がおすすめします!

推薦者：菅野 深 (東京グラフィックサービス工業会 会長)

私たちにとって封筒はとても身近な商品ですね。封筒に社名や住所を印刷する仕事を請けている会社も多いと思います。この番組では、オリジナル封筒を作ることができる「別製封筒」をテーマに、既製封筒と別製封筒の見分け方、製袋加工の仕組み、窓開・糊付けなどのオプション加工、封筒に適した用紙、印刷時の注意点など、封筒作成ノウハウが解説されています。封筒についての知識を手軽に得られるので、おすすめです!

## 特殊印刷／加工シリーズ特集 ▶最新情報はWebでチェック! <http://www.jagrabb.net>



### 知っておきたい特殊印刷／加工「カード印刷」(全3巻)

営業力アップに活かそう! 知っておきたい特殊印刷／加工シリーズ第7弾。本セミナーでは、カード印刷の基礎知識、受注・見積のポイント、データ作成や委託発注の注意点などについて解説します。(時間:各巻13～23分 パスワード要)



### 知っておきたい特殊印刷／加工「光沢加工」(全2巻)

営業力アップに活かそう! 知っておきたい特殊印刷／加工シリーズ第6弾。本セミナーでは、製品に高級感を与えるだけでなく、耐久性・耐水性を高める光沢加工についてワンランク上の知識を解説します。(時間:各巻35分 パスワード要)



### 知っておきたい特殊印刷／加工「製本加工」(全2巻)

営業力アップに活かそう! 知っておきたい特殊印刷／加工シリーズ第5弾。本セミナーでは、印刷物の付加価値を高める製本加工について、プロがプロに聞きたいワンランク上の知識をお伝えします。(時間:各巻19～39分/パスワード要)



### 知っておきたい特殊印刷／加工「紙器・パッケージ」(全2巻)

営業力アップに活かそう! 知っておきたい特殊印刷／加工シリーズ第4弾。本セミナーでは、製品の種類・材料・構造などの基礎知識をはじめ、印刷・加工、ロットなどの受発注知識について解説します。(時間:各巻40～42分/パスワード要)



### 知っておきたい特殊印刷／加工「スクリーン印刷」(全2巻)

営業力アップに活かそう! 知っておきたい特殊印刷／加工シリーズ第3弾。本セミナーでは、スクリーン印刷の基礎知識をはじめ、スクラッチ、点字、蓄光インキ、香るインキなどの最新動向を解説します。(時間:各27～31分/パスワード要)



### 知っておきたい特殊印刷／加工「グラビア印刷」(全2巻)

営業力アップに活かそう! 知っておきたい特殊印刷／加工シリーズ第1弾。本セミナーでは、食品、飲料などの包装に多く用いられるグラビア印刷について、印刷現場に役立つ知識を解説します。(時間:各巻24～33分/パスワード要)

# JaGra Contest InDesign

## ファイナリスト10名が決定!

第2回目となる今年は214名が技能を競いました

“トップオペレーター発掘プロジェクト”の名のもとに、Adobe InDesign のオペレーション技能を競う「ジャグラコンテスト第2回 InDesign」の第1次審査採点が終了し、応募総数 214 名の中から上位 10 名のファイナリストが決定しました。本号では第1次審査の成績優秀者を発表するとともに、コンテストの概況について報告します。

×

### 第1次審査は5種類の印刷物の課題制作

第1回目の昨年は、20 ページの小冊子制作が第1次審査の課題でしたが、今回は様々な印刷物を制作する課題5問により、InDesign の知識、操作スキル、運用スキル、印刷知識を問いました。各問の内容は次の通りです。

①縦組み小冊子の制作 (1C・四六判・中綴じ)

②横組みマニュアルの見開きデザイン制作

(4C・B5判・見開き)

③リーフレットの制作 (4C・A4判・外三つ折り)

④2色刷りデータのデータチェックおよび修正

(2C・A4・中綴じ)

⑤星占い表のデータチェックおよび修正 (4C・表組み)

採点においては、専門知識を有する5名の審査員が、提出データ一式をコンテスト基準に則って細かくチェック。今回は全ての課題に「コンセプト文」の提出を課し、制作時に留意した点、工夫した点など、参加者からのアピールポイントも十分考慮したうえで採点に臨みました。



詳細は特設サイトをご覧ください  
<http://www.jagra-contest.com/>

今回の第1次審査は、様々な印刷物の制作が課題であったため、日常業務では制作経験のない課題に取り組んだ方も多かったかもしれません。そのような中、未知の機能も調べて制作可能とする柔軟性があるかどうか、上位入賞のための大きなポイントだったといえます。また、コンテスト順位とは別の観点でオペレーターの技能習熟度を測る指標として、印刷業において必須となる機能を習得しているかを測るための「必須項目」を定め、総合採点結果とは別に必須項目のみの採点結果も集計しました。

### コンテスト概況

課題データのダウンロード開始から提出締切まで約1か月という短い期間の中、9割以上(214名中205名)の方が期限内に課題を提出しました。納期厳守が求められる印刷業界において、これは特筆すべきことでしょう。

採点の結果、InDesign 組版技能・印刷技能ともに優れている方が半数以上という結果でした。また、上位者の多くは、1~3点という僅差によるランキングになりました。よって、1位から50位以内の方々のいずれれもがトップレベルのオペレーターであると判断できます。

第2次審査会場で挨拶するコンテスト推進部の熊谷担当副会長(左)



### 第2次審査は9月10日に実施

ファイナリスト10名は、去る9月10日、ジャグラ本部1階のDTPスクールで第2次審査に臨みました。第2次審査では、現場とは異なるスクールPC環境下での120分の時間制限を設けた実技試験、という厳しい条件のもと、雑誌の媒体資料を想定した横組み8ページカラーの小冊子制作問題が出題されました。第2次審査の課題採点は9月下旬までに終了し、第1次と第2次審査の合計点で総合優勝者=第2代インデザインマイスターを決定します。本誌来月号の発表をお待ちください。

## 第1次審査成績優秀者の皆さん

上位25位まで

1 180点  
日経印刷(株)(東京・千代田)  
戸田大作



2 173点  
株式会社東北プリント(宮城)  
渡部高志



3 171点  
株式会社ニシキプリント(広島)  
渡部由加



株式会社サンワ(東京・千代田)  
西野学



株式会社北斗プリント社(京都)  
清水利恵



6 168点  
株式会社野毛印刷社(神奈川)  
清水雅規



7 167点  
株式会社ウィザップ(新潟)  
細田理恵



株式会社北斗プリント社(京都)  
加舎優美子



株式会社ウィザップ(新潟)  
平彩花



株式会社ニシキプリント(広島)  
竹腰加奈子



# Finalist 10

**お知らせ** 第1次審査採点結果は、9月上旬会社宛に郵送した採点レポート(経営者向け分析レポート/受験者向けレポート)にてご確認ください。また、コンテスト成績優秀者、受験者のスキル分布図等の資料はコンテスト特設サイト(<http://www.jagra-contest.com/>)にてご確認ください。

11 166点  
大村印刷(株)(会員外) 渡邊陽子

12 164点  
電算印刷(株)(長野) 白木隆士  
株式会社ウィザップ(新潟) 市川絵美

14 163点  
株式会社ニシキプリント(広島) 山崎博美  
株式会社双文社(東京・文京) 谷田傑  
株式会社双文社(東京・文京) 和田彩乃

17 162点  
株式会社東北プリント(宮城) 堀越まや  
やまかつ(株)(大阪) 八舟俊之  
株式会社ニシキプリント(広島) 伊勢川綾  
株式会社双文社(東京・文京) 馬籠由規

21 161点  
やまかつ(株)(大阪) 越智通春

22 160点  
富士プリント(株)(北海道) 岡本絵里子  
株式会社北斗プリント社(京都) 明田隆  
株式会社ニシキプリント(広島) 水間隆治

25 159点  
株式会社北斗プリント社(京都) 芦田修  
株式会社双文社(文京) 茂木圭介  
有めぐみ工房(新潟) 津端優  
株式会社北斗プリント社(京都) 奥野裕樹

# Top 11-25

# JaGra News

## 業・界・の・動・き

ジャグラ関連 | 日印産連 | 行政情報 | 印刷業界全般 etc.

### 東京青年部 FACE

#### 7.2 九十九里で地曳網を体験 共済会と共催で 50 名が参加

東京グラフィックス青年部 FACE（谷口高広会長）は、7月2日（土）、千葉県九十九里海岸・遊覧地曳網元かねせんにおいて地曳網体験とバーベキューを開催した。FACE主催・運営ではあるが、東京グラフィックス共済会（井上富美子幹事長）との共催という形で実施した。

×

当日は10時に現地集合、もしくは東京駅鍛冶橋駐車場からのバス組も含め、会員企業、従業員、家族など50人の参加となった。かねせんは九十九里でも有名な地曳網の網元で、一般にも50人以上の参加から、地曳網の体験コースを提供している。当日、朝は曇りのち快晴といった天気、浜風が強いが少々蒸し暑い。ジャグラ千葉所属でFACEメンバーでもあるクマガイ印刷の熊谷さんなど、地元組も参加した。ほとんどの参加者はファミリーで小学生ほどのお子さんが多かった。

九十九里はおよそ銚子から大原あたりまで延々と砂浜が続く外房の海岸で、夏は海水浴客でにぎわう観光地でもある。最近では海岸沿いにリゾートマンションが並び、定年を迎えた高齢者の定住地としても知られている。

地曳網はまず、台座に乗せた漁船を海岸から車で引っ張り、一気に海まで進める。しかし今回は潮の満ちが甘く、途中でストップ。参加者も手強い、重さ数トンの漁船をようやく押し出した。そして遠浅まで出航し、10分ほど網を降ろして曳いていく。漁船が砂浜近くまで戻り、皆で網の両端を曳き網の魚を囲い獲るといふ流れ。実際に網を曳くのはかなりの重労働で、特に今回は通常100人のところ50人しかいなかったため網はびくともしないほど重い。子供たちが楽しむ分、大人がかなり力を入れて事にあたる必要がある。

地曳網が終わるころ、ちょうどお昼時。ここはFACEの仕切りで、自前で用意した食材を用意し、バーベキューをふるまう。かねせんでも昼食にお刺身や天ぷらが食べきれないほど提供され皆満腹になった。ちなみに獲れた魚をバーベキューで食することもできるが、今回の漁獲は寂し

い結果に……。

バス組は午後海にのり九十九里へ向かい、海産物をお土産に帰路についた。車組もバスに続き海の駅で買い物をし、それぞれ解散した。

### 東京グラフィックス青年部 FACE

#### 9.2 SPACE-21 見学会&幹事会に参加

秋田・(株)くまがい印刷を見学

東京グラフィックス青年部 FACE（谷口高広会長）が所属する、ジャグラ青年部 SPACE-21（佐藤元代表幹事）は9月2日（金）に幹事会を開催した。

×

毎年、夏の幹事会は全国の各幹事が持ち回りで運営を主管している。今回は秋田県青年部・点睛会の熊谷健司幹事が主管し、ほか東北の各幹事も運営に協力した。幹事会の前段では熊谷幹事の会社である(株)くまがい印刷の見学会を開催した。見学会の参加者は9人。

同社は地元に着した印刷会社として業績を上げてきた会社。「くまがい書房」として、出版事業を手掛けるほか、会議録作成業務、うちわ、興味深いところでは「秋田弁単語カード」を販売し、これまで累計1万5000部を販売したという。各種助成金の申請にも積極的に取り組んでおり、全国中小企業団体中央会が所管する、ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金の申請が通り、オンデマンド機

とCTPを導入したばかり。見学会では補助金申請についてのノウハウ等もジャグラの仲間ということで惜しげもなく説明をいただいた。

同社の特徴でもある会議録作成においては、熟練のオペレーターが高速で文字入力していく様子を見学できた。通常我々がPCで文字を打つ際の、かな入力/ローマ字入力などは使用せず、あらかじめ決められたアルファベット記号の2つで1文字を打つ、2ストロークと呼ばれる技能を習得したオペレーターの方の作業のようすは圧巻で、記号習得の際の冊子も手に取って閲覧したが、覚えるだけで膨大な量であった。熊谷社長の先見の明で、地元でもいち早くこの技能に着目し、以来、会議録作成のスピードと正確性において、全国の同業者の中でも一日の長がある。

見学会後は、ふれあい会館 AU 会議室にて幹事会を開催した。FACEからも谷口会長が出席した。幹事会では11月の全国協議会石川大会について、越原実行委員長から運営と参加者の確認があった。来年度以降の協議会開催地については、すでに平成30年度は山梨に決定しているが、平成29年度については未定であったため検討した結果、名古屋開催となり、地元、愛青会が主管する予定。春の総会は例年通り、東京開催とし、これは地元のFACEが企画・運営、主管する。詳細はFACE定例会に諮り、詳細決定次第、SPACE 幹事会に提案する。

網のあまりの重さに驚く参加者



FACEの仕切りでBBQ



かねせん前で記念撮影



2ストロークの特殊技能を見学



熊谷副会長(中央)より説明を受けるSPACE 幹事の皆さん



幹事会の模様



月刊「グラフィックサービス」778号  
No.778  
2016  
S09

#### 月刊「グラフィックサービス」778号

■発行日 平成28年9月10日(毎月1回)  
■発行人 中村 耀  
■編集人 早坂 淳  
■発行所 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称 ジャグラ  
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16  
TEL 03-3667-2271  
FAX 03-3661-9006  
WEB http://www.jagra.or.jp/

#### ■編集部 メール edit@jagra.or.jp

◎原稿/編集/校正  
沖 敬三 守田 輝夫 並木 清乃 長島 安雄 酒井 玲子  
阿部奈津子 今田 豪(以上、ジャグラ事務局)  
斎藤 成(東グラ/広報委員)  
藤尾 泰一(南インフォ・ディー/広報委員) 日経印刷機(校正のみ)

◎組版/デザイン  
(南)インフォ・ディー  
組 版= Adobe Creative Suite 6 フォント=モリサワ OTF ほか

◎印刷  
日経印刷機(東京・千代田支部)  
RIP=大日本スクリーン Trueflow  
CTP=富士フィルム XP-1310R 東レ TWL-1160F  
刷 版=大日本スクリーン PT-R8800ZX

印刷機=ハイデルベルグ社 SM102-8P SORD  
インキ= DIC

◎用紙  
三菱ニューVマット FSC®-MX 菊判 62.5kg

※本誌は FSC® 森林認証紙(管理された森林の木から作られた紙)とベジタブルインキ(環境配慮型インキ)を用いて、環境に配慮した印刷工場で生産されています。http://www.nik-prt.co.jp/

#### 編集後記

昨年、ジャグラは結成60周年設立50周年という記念すべき年を迎えましたが、同じようにジャグラなど印刷関連10団体で構成する日印産連も設立30周年という記念の年を迎えました。日印産連が設立されて各印刷関連団体と足並みを揃えて社会にアピールしようとしたのが毎年9月の「印刷の月」。当初ジャグラは、6月決算のため総会・文化典は9月開催で、意図せずとも協力してきた形になっていました。今も9月の「印刷の月」は続いています。新たに印刷業界の地域との関係をもっと情報発信していこうという試みも始まりました。日印産連の広報委員会(ジャグラからは早坂理事が参加)が旗振り役になっていますが、ジャグラ会員の事例も紹介されています。皆さまも参考にしていただくと同時に、もっとこういう事例もあるよ、ということがあればお知らせくださるようお願いいたします。

# 新 知 孔 温

懐かしき謄写印刷とその魅力

—— 今こそ先達の精神を学ぶとき



ジャグラ山形県支部長 (中央印刷株)  
山形謄写印刷資料館 館長

後 藤 卓 也

## 第9回：俳優・佐藤慶、貧乏時代・ガリ版との日々

～その若き日と主要な作品～

かつて連続テレビや映画への出演、そしてナレーターとして活躍し、2010年(平成22)5月に81歳で亡くなった名優・佐藤慶は、ガリ版印刷の名人でした。佐藤慶は1928年(昭和3)12月21日、会津若松市に生まれました。「私とガリ版との出会いは、小学校五・六年生の頃、生家の蔵の中から“堀井謄写堂製”と書かれたガリ版一式を偶然発見したことから始まります」と、生前インタビューした時、お聞きしました。幼い頃から絵よりも文字を書くことの方に興味があり、時間割表を作って級友に配ったり、自分の書いたものが何枚もそのまま作れるガリ版印刷がおもしろくて仕方がなかったそうです。やがて1946年(昭和21)に会津若松市役所に就職し、戸籍係に配属となりますが、その頃に作った印刷物が僅かですが残っています。

「会津若松で劇団をつくって県の大会にでたところ、大賞をとりました。地元に戻り、凱旋公演ということでお歴々の前で披露。ここまではよかったのですが、無断で市役所を休んで大会に出たのがわかってクビになりました」。辞めた理由はそれだけではなかったのだろうが、親の反対を押し切って上京。会津での演劇活動に限界を感じたというのが本当のようです。

「この頃は面白いということだけで見よう見まねでガリ版印刷をやっていました。会津で劇団作って芝居やっていた頃です。この時代の作品はもう酷いんです。家に残っていたいいかげんなやすりと、いいかげんな原紙で書いたからね」と、当時の作品を前に振り返っています。

上京はしたものの、俳優への道はきびしかったのです。勘当同然のために親からは一円の仕送りもなく、「芸が身を助けるほどの不仕合わせ」とはこのことだが、子どもの



佐藤慶さんの自宅にて(1997年4月)



頃から見よう見まねで身につけていったガリ版の筆耕で稼ぐしかないと考えて、同郷の友人から紹介してもらったのが「耕文社」という素人集団のガリ版屋。ここでの一番大きな仕事は文部省検定教科書の下刷りでした。

「教科書検定になる下書きです。つまり1ページをこの大きさに書いて、原紙に直接執筆の校正を受けて、三校ぐらいやって、やっとOKが出て、今度は刷り専門の人がいて刷りに入るわけです。それを1冊にまとめて送ると、それが凸版印刷とか大日本印刷とかに教科書原稿となって行くという方法。今はおそらくワープロでやっているんでしょうけど。漢文はもちろん、社会、国語、数学、英語、色々あったんです。十何人で書いて。文字はまちまちです。工賃は一枚いくらです。漢文が字はでかい一番有利でした。数学とか英語なんか受け持ったら、大変ですよ。スペル間違ったら大変でしょ。数学だったらよけい。なるべく楽なのを分捕ってね。」と当時を回想する。

その他、会社等の会報や同人誌など、仕事は多岐にわたっていました。同人誌の場合、一冊分を請け負い、B5判で1ページあたり1550字。一日徹夜でやっても7・8ページが限界で、労賃は一字5銭であったため、一日いくらやっても500～600円にしかならず、画数の多い文字は特に大変で今でも「憂鬱」という字を見ると憂鬱になると言っていたのが印象的でした。

佐藤慶の右手中指の第一関節は他に比べて太い。本人曰く、「ガリ版だこで、刃物で切っても血が出ないくらいに



会津若松時代の印刷物 奥付に印刷者 佐藤慶とある



教科書の下刷り

堂々たる多色刷りの作品



10 仲代元久  
11 中村正昭  
12 志村代志  
13 佐藤慶之助  
14 佐藤 允



佐藤慶手製の活字字典ノート



上)俳優座養成学校名簿 仲代元久(達矢)、中村正昭(後の中谷一郎) 佐藤慶之助(佐藤慶)、佐藤允等が同期 一学年上に渡辺美佐子、愛川欽也、二学年上に小沢昭一がいる 下)角2封筒の一部

かたくなっています。」葉巻のように太い鉄筆を握り続ける指には、激痛が走り、二の腕は異常な熱をもち、真冬でも共同炊事場の水道の蛇口で腕を冷やしながら書くのが常だったという。それでも、同人誌の表紙絵などには、特殊な絵画やスリを多用し多色刷りを行い、「一端のプロ気取り」でした。

1953年(昭和28)に、念願の俳優座の養成所に入ったのでした。その頃になると、筆耕だけでなく印刷・製本まで自分でやり、一番のお得意様は、俳優座演劇研究所でした。

「もっぱら俳優座の一手引き受けで、この頃はやっていたんです。若いグループがいて刷りを頼まれたりとか。また、授業に使うテキストや、入試問題・案内状・封筒・名簿などの印刷も行ったりのものです。文字を、自己流で書くのが嫌いで、全部印刷物から手で写すんです。小さい字だと昔の漢和辞典とか。それから、でかい文字は新聞を

切り抜いておいて字典みたいに作っておくわけです。そこから写していくんですけど。いわゆる自己流の活字体というのがどうも嫌いで。なるべく活版に似せたかったんです。何冊もあったのですが、今は二冊だけ残っています。全部貼って作ったんです。毎日毎日見ているいいやつを貼って。字典一冊作るだけでもかなり何年かかっています。」

佐藤慶が作った印刷物の中には滞納授業料の催促状があります。「お宅の息子・娘が×か月滞納しているの×月×日までに必ず納めてくれ」という内容を各保護者に郵送されるもので、父親も見たに違いないとのことでした。

1959年(昭和34)年、「人間の条件・第三部」(小林正樹監督)に抜擢され、その演技が目ざされ、それを転機に貧乏生活・ガリ版生活とも別れを告げた。だが、貧乏時代の生きる糧であったガリ版の機材や、作品はずっと何回も引っ越ししたにもかかわらず、捨てることができずに、保存していた。「ワープロやパソコンは嫌いです。だって、手書きがいいもの。」という佐藤慶の書く文字は、ガリ版から離れて何十年にもなるのものすごくきれいです。

1997年(平成9)4月、佐藤慶が何十年も大切に保存していたガリ版機材・作品は、山形謄写印刷資料館に全て寄贈されました。以前にご覧になった方もいらっしゃると思いますが、素晴らしい作品ばかりであり、一度是非ご覧下さい。(つづく)



